

ヒトが人間になるための進化の歴史

帯刀益夫（東北大学名誉教授

第4回 ものつくりの始まりは農業

人類はアフリカから出てゆく動機があった？

われわれ現代人の起源はアフリカにあり、ホモ・サピエンスの一集団が、およそ8万6万年前ごろから、東アフリカを起源として広がり、56万年前ごろには全世界に広がっていったと推定されています。ゲノム解析の結果から、614万年前ごろにはアジア、ヨーロッパ、およびオセアニアに辿りついていたと見積もられ、アメリカ大陸に最初に現れたのは、1万5千年から3万5千年前と見積もられています。

では彼らはなぜ、アフリカから出てゆく旅に出たのでしょうか？ 彼らが狩猟採集民

として生活していれば、獲物の動物を追いかけて移動し、また、魚貝類を探して海岸に沿って移動したり、さらには草原の植物を探して移動するのは当然のことであり、こうして食料を探してゆくうちに、結果として世界中に広がるような旅に出たのだと考えることができます。

また、こうした食料と生活が可能な気候条件の変化がその動機となったことも考えられます。

しかし、アフリカ南部の様々な気候帯および生態域に広がる遺跡調査の結果、これら地域の文化が繁栄したのは人類が世界中に分散しはじめた8万6万年前という重要な時期にちょうど当てはまる

ことがわかり、研究者たちはアフリカから出て世界中に分散していったのは、狩猟採集のためや気候変動などの理由ではなく、「ものづくり」などの技術革新と社会的な組織体制がアフリカを出る大きな動機になっていたのではないかと、つまり、意図した旅立ちであったのではないかという推定もされるようになりました。

人々を移動から定着させた農業のはじまり

アフリカを出発して地球上に広がっていったひとつとは、1万年前ごろになると、狩猟採集から農業への変遷をはじめました。

そして、古代のひとびとは、4千年前ごろには、現代の人間が生存のために必要としている、米、小麦、トウモロコシなどすべての主要な穀物の栽培化を終了してしまっていました。

農業の起源は、人類史において最も重要な出来事であるといえます。それは、人類が

それまでの200万年以上にわたって、狩猟採集生活によりり食料を求めているいろいろな場所を転々と移動するという不安定な生活から、穀物となる植物の栽培や、家畜としての動物の飼養を開始したことで、食料の安定的な確保ができるようになったからです。

その結果、人々は同じ場所に定住できるようになり、集団として住むことで人間社会が形成され、人口の増加も始

「森友」「加計」疑惑は「小さな問題」か？

自民党の二階俊博幹事長は9月19日の記者会見で、学校法人「森友学園」と「加計学園」をめぐる疑惑について「小さな問題」と言い放ちました。衆院解散の動きで野党側から「森友・加計の疑惑隠しだ」との批判が出ていると

の記者の質問に答えたもので、二階氏は会見で「野党がおっしゃるのは自由だ。われわれはそんな小さなというか、そういう問題を隠したりする

まります。そして、その後の都市の成立や交易の始まりへと繋がり、最初の「文明社会」の基礎ができあがることになりました。

それ以後の人間の歴史は、歴史の教科書に記された通り、工業化社会の発展があり、現在の文明社会へと発展してゆきますが、そのおもとの大きな転換点は農業のはじまりといえます。

ことは考えていない」と発言したそうです。

しかし、森友疑惑は、安倍首相自身が国会で「もしかかわっていたのであれば私は総理大臣をやめる」と述べるほどの問題です。

憲法53条に基づいて野党が要求していた臨時国会を3カ月間、召集せず解散するのは大きな問題だからではないでしょうか。平気で偽りを述べる大臣たちを退陣に追い込みましょう。

部内資料

発効責任者	大田 勅 (62-5727)
議員連絡先	うすい 孝彦 (62-5093)
	服部 久子 (62-4357)
編集責任者	山本 久子 (61-1066)

191号
2017年9月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ



記者会見する志位委員長
25日国会内
新聞赤旗より

衆院28日解散へ 首相が表明 疑惑隠しの「自己保身解散」

安倍首相は9月25日夕、首相官邸で記者会見し、衆院解散を臨時国会の召集日である28日に国会の冒頭で行うことを正式に表明しました。総選挙は10月10日公示、同22日投票で行われる見通しです。

安倍首相は、野党が真相解明に向けて臨時国会での審議を求めている「森友学園」「加計学園」をめぐる疑惑について「閉会中審査に出席するなど、ていねいな説明を積み重ねてきた」などとごまかしました。自らの疑惑が国会で追及されることを恐れ、隠すための解散であることが鮮明となりました。

一方で、総選挙は一連の疑惑

について批判されることになる」と述べ「本心に厳しい選挙となる」と繰り返し述べました。

安倍首相は、「国難突破解散だ」として、少子高齢化と北朝鮮への対応をめぐって「国民の信任を得たい」と述べました。

再来年10月に狙っている消費税10%への増税を前提に、その使い道を変更して高等教育無償化などに充てると強調しました。

「国民との約束を変更し、国民生活にかかわる重い決断を行う以上、速やかに国民の信を問わなければならぬ」と述べました。実質的な増税宣言です。

さらに米朝間で軍事的緊張が高まっている問題について「対話のための対話には意味がない」と世界各国が求めている対話による解決を否定。「あらゆる手段による圧力を最大限まで高める以外に道はない」「選挙で国民から信任を得て力強い外

交を進めていく」と強調しました。

来年6月に発議を狙う憲法9条改憲については一言も触れませんでした。

安倍政治を退場に追い込む 絶好のチャンス

今回の解散は、国政を私物化し、秘密保護法、戦争法、「共謀罪」法を強行してきた強権的手法に対して国民の怒りが沸騰し、世論に追い詰められた結果です。

「先に行けば行くほど展望がない」「野党の体制の整わない今しかない」というイチカバチカの冒頭解散といわれています。必ず勝利して安倍首相に「とんでもない計算違いをやっちゃった」と言わせようではありませんか。

野党と市民の共闘を成功させ、日本共産党の躍進を待ちと、安倍政権を退場に追い込み、新しい政治をつくるために先頭に立つて頑張ります。

日本共産党池田支部

コラム 有明

“池田町にゴム体操あり”各地域の公民館（地域支え合い施設）で町の

理学療法士さんによるゴム体操が盛んだ。▼町内16ヶ所で行われていると聞き、先生のご努力もさることながらサポーターの方々に感謝したい。ゴム体操は、ふだん使わない筋肉を使うため初めての人は少々筋肉痛を起こすが、週1回続けていけば徐々に身体が慣れてくる。元気に指導してくださるので楽しい。▼椅子にすわって行うので膝に負担がかからず誰にでもできるのがいい。高齢者が増え健康寿命が71〜74歳の長野県では特に力を入れる必要があるということだろう。介護予防事業として各地域で体操が継続されることはとても良いことだと思う。どの地域も男性が少ないと聞いている。ぜひ参加してみたらどうだろう。